



産業界をリードする創造的アグリテックエンジニアの育成

～深化した探究学習により地域から未来人材を発信～

人材発掘

人材育成

人材供給

- 現状
- 地域の農業・工業を担う人材が少ない
 - 地域や行政と連携・協働した人材育成が希薄
 - 小中学生が本校の魅力を知る機会が少ない

- 現状
- キャリア教育が限定的
 - スマート農業が教育課程にない
 - 施設設備の充実に向けた予算が不足

- 現状
- 産業界と学校をつなぐパイプ役が不在である
 - 学びの刺激となるグローバルな視点の不足
 - 開発物への産業財産教育の不足



学校・町・産業界・県の課題

- ▲人口減少による地域産業の担い手不足・人手不足
- ▲農業高校への入学者の減少
- ▲魅力ある地域づくりのアイデアに欠ける
- ▲持続可能な循環型社会への若者の参画の機会が少ない
- ▲産業界の技術者を志す生徒・児童の減少
- ▲獣害による農地への被害

実践計画及び事業概要

①事業運営委員会・コンソーシアムの構築

②「総合実習」の展開

- ・産業界からの講習会
- ・自動車製作

→SXを踏まえたIT、IoT技術活用

③連携授業や共同研究の実践

- ・獣害対策アイデアを圏域外にも発信
- ・開発物等における知的財産教育の実施

④圏域小中学校での出前授業や協働学習

- ・小学校における命を育む出前授業の実践
 - ・中学校「総合的な学習の時間」と加美農の「課題研究」において協働学習を実践
- 農業×工業の魅力に触れる

⑤学校設定科目「スマート農業」移行

- ・産業実務家教員による授業
- ・校内にモデル圃場を設置

⑥デュアルシステムの実践

⑦先進企業等の視察・研修の実施

⑧成果発表会

⑨求められる技術・人材の情報共有

→変化を感知し変化に対応する人材育成



加美農コンソーシアム



○**工業** 工業技術を活用し、地域環境を守り育て農業の魅力を伝える人材育成

○**農業×工業** スマート農業の技術を持ち、**農業の自動化・少人化・省力化を達成するものづくり**に携わる人材育成

○地域と、大崎耕土をはじめとする地域の自然に愛着を持ち、持続可能な地域づくりの視点を持った**創造的アグリテックエンジニアの育成**



産業界をリードする創造的アグリテックエンジニアの育成

～深化した探究学習により地域から未来人材を発信～

加美農コンソーシアム 実施体制等の構成

宮城県教育委員会

- 事務局的機能
- 指定校への支援・助言
- 志教育充実のための施策
- 教育課程の検討

色麻町

- 指定校への支援・助言
- 課題研究への助言・交付金支給
- 小中学校の志教育充実のための施策

小中学校への出前授業等の調整

加美農業高校（農業機械科）

- 学科改編によるカリキュラムの充実
- スマート農業の実践に向けた施設・設備の更新
- 「加美農版デュアルシステム」の構築
- 産学連携CDとの連絡調整による組織的かつ持続的な仕組みを構築
- 成果発信

産学連携コーディネーター配置

事業運営委員会

- 当該事業の具体的施策の検討
- 専門的事項の研究 等

産業界

- 産業実務家教員の派遣
- 「加美農版デュアルシステム」受入体制の構築
- 産学連携CDとの連絡調整

大学・研究機関 等

- 特別授業講師の派遣
- 専門的見地からの助言
- 共同研究
- 韓国 京畿自動車科学高校との交流事業

要望・要請

指導助言
取組の検証

指導助言
取組の検証

要望・要請

指導助言等

指導助言
取組の検証

目的

創造的人材発掘

- ・学びと実社会のつながりを学び、職業への関心を高める
- ・農業現場で化学がどのように応用されているか理解
- ・産業界への理解を深め専門的案学びへの興味関心

人材育成・協働

- ・専門知識を活かし忍耐強く課題に向き合う調整能力
- ・新しいアイデアへの発想力・創造的な思考力
- ・未来の食料生産について考察できる探究力
- ・自己の将来像を考える力

地域への未来人材供給・発信

- ・自治体や様々な人の中で育むコミュニケーションスキル
- ・地域社会の一員としての意識を持ち地域に貢献するリーダーシップ
- ・グローバルな職業人材としての意識



荒川堰開水路



花川取水

